

令和6年度「第23回聞き書き甲子園」協力市町村（地域）公募要領

1. 趣 旨

「聞き書き甲子園」は、毎年全国の高校生が、森・川・海の「名人」を訪問し、一対一の対話によって、その知恵や技、心、さらには人生そのものを「聞き書き」し、記録、発信する取組です。令和6年度（第23回）実施にあたり、「名人」の推薦と高校生の受け入れにご協力いただく市町村（地域）を公募します。これにより、「自然と向き合う仕事の大切さ」や「地域ごとに特色ある生活文化の豊かさ」をひろめ、あわせて地域の未来を担う次世代を育成します。協力市町村に対しては、その地域の自然の中で長年にわたり育まれてきた「なりわい」や「生活文化」について幅広い世代が再認識するきっかけを作り、地域の未来のあり方を皆で考える「場」を提供するものであり、また、地域と深い関わりをもつ関係人口の創出にも貢献するものです。

同趣旨に賛同し、ご協力いただける市町村（地域）は、以下の要領にてご応募ください。

2. 概 要

1) 公募対象

本公募の対象は市町村（地域）とし、「聞き書き」の対象となる「名人」を推薦いただくことが要件となります。なお、市町村を窓口として地域団体（※）が実質的な主体となり申請することや、複数の市町村が連名で申請することも可能とします。

※ここで言う「地域団体」とは地域自治組織や市民活動団体、事業協同組合等をさします。

2) 「名人」の推薦

「名人」は林業、水産業、工芸等に携わるなどして、森・川・海などの自然とかかわる仕事をしてきた概ね60歳以上の方を想定しています。選定された市町村（地域）には、別添の「名人推薦要領」にもとづき、6～8名の「名人」の推薦書を令和6年1月末までに提出いただきます。

「名人」には、令和6年度に実施する「第23回聞き書き甲子園」において、高校生の「聞き書き」取材（推薦いただく「名人」の人数に応じて高校生を派遣。一対一で実施）にご協力いただきます。

取材にご協力いただく「名人」には、実行委員会より謝金をお支払いします。

3) 「聞き書き甲子園」実施スケジュール（予定）

（令和5年）

10月下旬 公募にもとづき協力市町村を決定

（令和6年）

1月末 市町村より「名人」の推薦書提出

3月下旬 協力いただく「名人」を決定

5月上旬 参加高校生の募集開始

7月下旬 参加高校生の決定

- 8月中旬 参加高校生の研修会を開催
- 8月下旬 高校生による「名人」の「聞き書き」取材開始
- 12月中旬 高校生が「聞き書き」作品を事務局に提出

(令和7年)

- 2月上旬 優秀作品を選考
- 3月下旬 成果発表会を都内で開催
- 4月下旬 作品集を関係者に配布

4) 主催

「聞き書き甲子園」は、以下の省庁、団体によって構成する実行委員会が主催しています。
(構成) 農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、
特定非営利活動法人共存の森ネットワーク

5) 感染防止対策について

開催にあたっては、政府ならびに地方自治体等における方針をふまえ、実行委員会で検討して実施いたします。実施するにあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策基本方針に従い、感染防止対策を徹底します。

<新型コロナウイルス感染防止対策基本方針>

1. 感染防止対策について

聞き書き甲子園における全てのプログラムおよび事務業務を行うにあたっては、以下の基本方針に従い感染防止対策を徹底する。

(1) 「3つの密」の回避

密閉空間、密集場所、密接場面という条件が同時に重なることを避けるとともに、3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り「ゼロ密」を目指す。

(2) 飛沫や接触による感染予防

- ①マスクの着用や咳エチケット等を徹底させ、飛沫感染防止をはかる。
- ②石鹸での手洗い、消毒液の使用などで手指および手が触れる場所の消毒を徹底する。

(3) 室内換気やソーシャルディスタンスの徹底

- ①密閉空間にしないよう、こまめな換気を行う。
- ②席の間隔を空ける、人と人との距離をとる等、ソーシャルディスタンスを徹底する。

(4) 健康状態の把握

- ①参加者及びスタッフは検温を徹底し、健康状態の把握に努める。
- ②発熱などの症状や体調不良の兆候が見られる場合には、自宅待機とさせる。

2. 連絡体制の確立

- ①事前に緊急連絡体制を整備する。
- ②感染の疑いがある者が生じた場合は、接触歴等の情報をまとめ、保健所に相談する。

3. その他

- ①感染拡大により、国や都道府県が緊急事態宣言（あるいは、まん延防止等重点措置）を発令する場合は、その方針に従う。
- ②実施内容の変更、延期、中止の判断は、実行委員会が行う。

（令和3年2月22日 聞き書き甲子園実行委員会決定）

3. 応募について

1) 応募方法

必要領の申請書（様式1）と申請地域概要説明書（様式2）を、下記の応募期間内に聞き書き甲子園実行委員会事務局に提出してください。

※応募書類一式は、郵送またはメールに添付し、送付してください。

応募期間：令和5年5月10日（水）～9月6日（水）17時（必着）

2) 応募先およびお問い合わせ先

聞き書き甲子園実行委員会事務局（NPO法人共存の森ネットワーク内）

〒156-0043 東京都世田谷区松原1-11-26-301

（担当 小倉・福岡・三木）

電話：03-6432-6580 FAX：03-6432-6590

E-mail：contact@kikigaki.net（すべて半角英小文字）

4. 選定方法

1) 選定方法と基準

申請書に基づき、全国から10～12の市町村を、実行委員会が選定します。

選定にあたっては、地域特性と地理的バランスを考慮します。

選定の結果、ご協力いただく年度が令和7年度以降になる場合もございますので、ご了承ください。

2) 選定結果の通知

選定結果は、令和5年10月末までに、文書により申請者に連絡する予定です。

5. その他

- ・名人の推薦ならびに高校生の「聞き書き」取材にご協力いただくことが決定した市町村は、令和5年11月末までを目処に実行委員会事務局がお伺いし、「名人」の推薦書提出や「聞き書き」実施等に関する詳細のご説明と打ち合わせをさせていただく予定です。

- ・市町村には、令和6年1月末までに「名人」の推薦書を提出いただきます。
- ・各市町村職員ないし名人の推薦にご協力いただく地域団体の担当者には、高校生が参加する研修会（令和6年8月中旬に開催予定）や成果発表会（令和7年3月中旬に開催予定）への出席を依頼します。市町村職員が出席する場合の旅費は、原則として各市町村でご負担ください。地域団体の方に出席いただく場合の旅費は、原則として実行委員会が負担します。
- ・高校生の「聞き書き」取材は、令和6年8月下旬以降、実施します（原則として2回）。高校生の旅費は、実行委員会が負担します。
- ・高校生は、「名人」と直接連絡を取り合い、取材日の調整を行います。実行委員会事務局と各市町村は、その情報を共有しますが、市町村職員が取材に立ち会う必要はありません。（高校生は原則として一人で取材を行います）
- ・取材にご協力いただく「名人」には、実行委員会より謝金をお支払いします。
- ・「聞き書き」の成果は、作品集にまとめ、関係者に配布します。
- ・作品データは、地域の教材や広報素材として活用できるよう各市町村に提供します。
- ・優秀作品に選ばれた「名人」（代表の数名）は、成果発表会への招待を予定しています。
- ・各市町村（地域）単位で成果発表会等の開催を企画する場合には、費用の一部を補助する予定です。

【関連リンク】

- ・聞き書き甲子園公式ホームページ <https://www.kikigaki.net>
- ・聞き書き電子図書館 <http://lib.ruralnet.or.jp/mori/>
過去の作品と名人のプロフィールを検索、閲覧することができます。なお、作品の全文を閲覧する場合は登録（有料）が必要です。
- ・聞き書き甲子園公式 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCAn74tWRi4oUFcNjQL3zvUA>
過去の聞き書き甲子園フォーラム（成果発表会）の様子や、聞き書き取材について学べる動画を公開しています。